

# 弓道ながの

第58号

発行：長野県弓道連盟  
会長 外蘭公毅  
〒399-4117  
駒ヶ根市赤穂10214-4  
TEL0265(83)5206  
編集：県弓連広部  
印刷：県成進社印

## 巻頭言

### 運と偶然の五十五年

長野県弓道連盟副会長 平野 英孝



私と弓の出  
会いは、昭和  
三十六年四月  
高校に入学し  
て数日後、友  
達を訪ねたと  
ころ留守で、

「城山の弓道場へ行って」とのこと。当時学校に弓道場はなく、飯山弓道会の道場で練習していました。

ただ友達を訪ねるため向かったのに、強引に道場に引き込まれ、気の弱かった私は(今も同じですが)断ることも出来ずに、入部することになりました。

当時、スポーツ店を経営しながら、飯山北高の弓道部の指導をしておられた、古澤博先生の教えを受けることになったのです。

そして翌昭和三十七年十月、第十七回岡山国体高校近隣の部に、なんと初出場で優勝することが出来たのです。(機関紙「弓道」昭和三十七年十二月号国体特集に、名門校の中に「惑星的存在の飯山北高」の文字が幾度も登場しました。)

当時、優勝した種別は閉会式に参加することが出来ました。十月、日の短くなった秋の夕方、閉会式会場の陸上競技場に設置された聖火が夕闇の中に消える瞬間、涙を流したあの時の感動を再び味わいたくて、今も引き続けているのかも…。

二年生秋から部長を引き受け、岡山国体出場、翌年山形酒田インターハイに出場出来たことは、偶然イヤ無理やり入部させられた私にとっ、て、高校生活は幸せな弓の思い出ばかりでした。

昭和四十三年には再び、岩手国体に出場することが出来、長野県成年男子選手は今井勉先生(上伊那)・筆者(飯山)・西塚増美先生(飯伊)、監督遠山肇先生(飯伊)でした。昭和四十四年長崎国体は選手に決定されましたが、飯山市内が集中豪雨災害に見舞われたため、辞退させていただきました。

昭和四十五年福井国体は、長橋秋男先生(長鉄)・筆者(飯山)・小林義行先生(長鉄)、監督宮澤廣先生(長鉄)でした。

もうご一緒出来なくなった先生もおられ、懐かしくも寂しい思い出があります。

昭和五十年十一月錬士受験、一次審査の発表を見て驚き、二次審査方法もよく分からず、今は亡き吉澤金房先生に急遽教わり二次審査を受けるといふあわただしさ、極め付きは面接でした。審査員の先生が「君は古澤君の弟子かね?」「はい!」すると「それなら大丈夫だね。」後は何も聞かれず。これは運が良かったのか…何なのか…。

それから十年間、六段目指し受験するも、番号の若い頃は皆中できたのが、甲矢が当たっても乙矢が当たらず。「また外れるかも…」と頭の中をよぎる弱気な有様でした。

昭和六十年全日本選手権大会に出場させていただき、四射三中で

二十一位、予選通過は出来ませんでした。これが切っ掛けでその年の十一月の審査で久しぶりの皆中で合格することが出来ました。

翌年五月京都審査で教士を初めて受審、一次通過し七月には仙台審査で二次を通過することが出来、六段から教士まで僅か八か月でした。

最近運にも偶然にも見放され、合格の文字は遠のくばかり、はて私の弓道人生、実力では無く「運と偶然」の五十五年であったのではと思えます。

終わりに、何と言っても最高の「運」は、わが師、古澤博先生との出会いでありました。いまは向こうの世界で「お前は本当に運がよかつたなあ!」と笑っていることでしょうか。



寄稿

範士八段 千村萬次郎先生

大北支部 五段 遠山 昌信

先生の訃報を聞き枕辺に駆けつけた時

「父から言われています」と古い弦巻を渡されてから早十四年も経ちます。病床を見舞った折「お前には大町弓道会の先輩から受け継いだ弦巻を形見にやる」と言われていたので、未熟な弟子にその伝統を引き渡さなくてはならなくなった千村先生の無念を想い号泣しました。

王子神社の夏祭では数百年も続く稚児の流鏑馬が行われ、大町に育てばこの射隊の射手になるのが夢であり先生も射手童になったと話してくれた事がありました。が、先生の略歴は昭和六十二年範士昇格の折弟子達の機関紙白嶺葵弓友への寄稿文の抜粋にて紹介したいと思えます。

「思えば昭和二年弓を始め以来六十年さまざまなことがありました。五段錬士までは極めて順調に合格したが、六段は本当に苦労しました。今度こそはと幾度思ったことか。十数回も受審してようやく合格し、以来教士、七段、八段とその苦労が実つて順調に合格し今回最高の称号範士をいただきました。こんなに早く範士になるとは思いませんでした…」

以下莊子の「木鷄」を例に引き…「この心を目標に精進を重ねていく覚悟でございます。諸君もこれを目標に修練して

ください。

願わくば大勢の諸君が弓を引いてほしいと思います。」と結ばれました。

ともすると何の世界でも上に立つと威張ったり未熟の者を見下したりしがちですが、そうした姿が無い先生で、教えと言つて厳しく指導することもなく、私など「力を抜け」とか、「弓手はおつかいだけばいだよ」程度に言われていただけでしたが、思えば先生と県下各地の射会や審査会に同行させていただいている中で知らず知らず「木の鷄」になる指導を受けていたのだと思えます。

先生が範士になった頃、遠射射場こそ出来ていませんでしたが現在の大町市運動公園弓道場は竣工しました。それまでは東町の小さな三人立ちの道場でした。



しかし何時でもここに行けば先生は居たのです。寒風吹き込む道場の手あぶりに二人で向かい合い「遠山、どうするだよ」と弓道会員の増えないことを何気なく話されました。しかし老人施設整備の二環として新道場の計画が示された時先生の言った事は「何しろ大きいものを作ってもらえ」でした。先見の明とはこのことでしょう。おかげで現在は部員の増えた高校弓士もこの道場で対抗戦もできるようになっていきます。

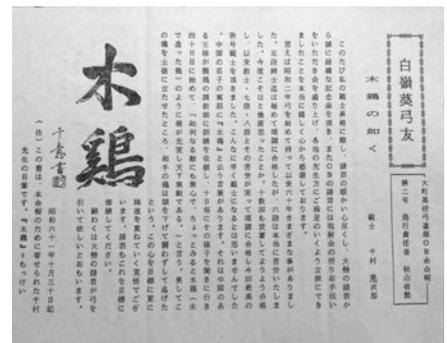
さて千村先生の教えはいかなるものかと思ひ出してみるに一番は「足・腰・丹田」だったような気がします。阿波研造先生の図解にこれを足した射境を図に示したものが道場に貼つてあります。諸躰を使っていたのでこの使い方も時々教わったのですが、軽妙な離れは学ぶべくもなく今となつては後の後悔先に立たずです。ただ固帽子は親指から抜け出すように握り込まないように言われました。



下弦を引け、右肘の位置は肩線の拳半分下で後、上に伸びる、射手によって指導内容は違つたと思います。

昨年縁あつて千村先生愛用の、小倉紫峯とその父師斎藤紫山の足跡を、またその兄にあたる楠見大弓制作所を都城に訪ねました。千村先生の師百瀬豊範士は楠見湖水を使っていました。百瀬正先生の伯父窪田慎太郎範士と楠見蔵吉は幼馴染だったと聞いています。

私が高校に入り弓道を始めた頃先生の射は「キャンボン」の離れと友人たちで話していましたが、冴えた弦音を出す道具の手入れも怠りなかったように思います。着物袴紐の結び方のコツ、立ち方歩き方すべてを教わったはずなのに不肖の弟子をお許しください。全日本選手権に出場した頃は「遠山、最近矢が星に集まって筈を打ちそうだよわる」などとも言っていたことを思い出します。



▲機関紙 白嶺葵弓友



# 出逢い

上伊那支部 教士六段 中村 美穂

中学時代は泳いでいました。高校でも頑張ろうと水泳の強い学校に進学し強化練習に参加したものの自分が機械の部品にでもなったような感覚に…そんな時、部活に昇格したばかりで部員七名のみの小さな弓道部を見つけ、どんなことするんだろう、どうやるんだろう、何もわからなくてワクワクしました。こうなると好奇心旺盛な私はもう止まりません。入部させて頂きました。

当時顧問をされていた小口正則先生に教えて頂いたのが弓道を知る最初の出合いです。ひたすら基本、機械などではなく自分が表現できる弓を教わりました。その当時はこれで良いというゴールのない事がただ楽しくて引いていたのでわからなかったのですが今になって中りがすべてではない弓道を教えて下さっていたんだと気がつき感謝しています。在学中に誠道館に連れて行って頂き濱先生に出逢い、山川先生はじめ土川先生、そして沢山の先生方にお会いすることができ現在もお幸せなことにご指導を受けることができます。先生方はご自分の事は何時

も後回しです。皆が直ぐに稽古ができるようにと一番先に来られお掃除からのかけ、的はり、そして寒くないように道場を暖めて下さったりとその事を語る事も勿論押しつけることも決してありません。むしろ知られないようまわりに気を使わせないよう気を配られ、弓を引く事だけが弓道ではないのだと教えて下さいました。そんな先生方や一緒に引いて下さる方々に育てて頂き支えられて教士を頂くことができました。これからは少しでも教士に近づけるよう精進し先生方の教えを少しで

も多くの方々にお伝えできるよう恩返しができるように思っています。

今また先生方にお逢いする事ができた誠道館にお世話になる事ができ、また新しい出逢いが生まれています。濱先生の書き留めた言葉に、人間は一射毎につくられていく、一射は即ち個性の表現である。個性の表



現は内容の充実を待たねばならぬ。内容の充実が全身の努力から生まれる。全身の努力がなければ内容の充実はない。内容の充実がないものは個性の表現はあり得ない。個性の表現のない射は射の意味は持たない。と書かれています。山川先生が常日頃から言われている事です。教えるものはそれを自分で表現できなくてはいけない、それに伴って人格も備わっていかなくてはならないと…。

これからも一射一射に意味のある射が引けるよう努力し修練していきたいと思えます。

微力ながら少しでもお役に立てるよう頑張ります。どうぞこれからも変わらぬご指導のほどよろしくお願いいたします。

## 弓道合宿予約随時受付中！

### 野辺山洗心弓道場

- 近的道場 18人立1ヶ所 (床暖房完備)
- 12人立2ヶ所
- 遠的道場 1ヶ所

### 帝産ロッチ

〒384-1305  
 長野県南佐久郡南牧村野辺山1003  
 HP : <http://www.teisanlodge.com/>  
 ご予約・お問い合わせは 0267-98-2861

# 北信越地区指導者育成講習会

南佐久支部 錬士六段 亀岡 英司

さる五月二十一日から二日間、北信越指導者育成講習会が開催されました。長野県からは男女合わせて六名が参加、北信越各県から合計三十名の参加となりました。会場は、昨年新築されたばかりの新潟県の彌彦神社の境内にある弓道場で、無垢材がふんだんに使われた荘厳な雰囲気でした。

講師には主任講師に山形県の岡崎廣志先生、福島県に加藤出先生という範士の先生お二人をお迎えしました。

初日、最高の気候の中、スケジュールとしては普通の講習会と同じように進行了ました。最初の一手行射の後、加藤先生を中心に講習をいただきました。「大きく分けて二通りある、一つは会がない射法7節の人、もう一つは会から余計な力を加える8・5節の人」8・5節の人には会の後に会(ダツシユ)がある、ほとんどの受講生が技術的にいいところまできているのに残念だとお言葉をいただきました。そういうことを踏まえ、午後は長い時間射技指導の時間にあ



ててくださいました。岡崎先生からは特に会から離れを一連のものにするよう熱のこもったご指導をいただきました。それはもう境内に響き渡るような張りのある大きな声!「下すな! 引け! 会は我慢だ! 縮んできてからが勝負!」「離れは弦と箭を残心の場所まで持つていけ! ほどくな! 指動かすな!」受講生にも気合が入りました。対照的に加藤先生は静かにゆっくり、取懸の手法や筋肉の動き、体の細かい使い方についてご指導くださいました。途中で、本年の伝達事項のお話などもありましたが、これは県内の伝達講習

会での講習項目になりますので省略します。

この日の夜は、ホテル近くのレストランで懇親会が開かれ、恒例の夜の講習会に盛り上がりました。近い称号段位かつ近い年齢の、北信越地区の弓引きと親交を深められるのもここならではのです。

二日目、最初に講師の先生による特別演武を見せていただきました。岡崎先生は足や腰、さらに肩まで痛められていて、時々態勢を崩される場面もありましたが、加藤先生との見事な呼吸でそれを感じさせない一つの射礼でした。その後五段は射礼の研修を行いました。体配について細かい指導をいただいたというより、歩行や動作に気合を込め、周りに迷惑をかけることが大切であるという内容でした。特に引き終わった後、気合が抜けて動作に張りがなくなる、審査などでそれを見ると落胆するというお話には妙に納得してしまいました。そして質疑応答、いろいろな質問が飛び交いましたが、岡崎先生から、「なぜ昨日の夜話す機会があったのに質問にこない? 俺を寝かさないくらいの貪欲さが無いとうまくないよ」おっしゃる通りです。せっかくの機会を台無しにしたことを反

省です。

今回、岡崎先生からは、とてもここには投稿できない本音や経験談も聞かせていただき、笑いや大爆笑を交えながら勉強させていただきました。加藤先生からは審査を受ける心構えについても深く話していただきました。先生お二人に共通しているのは、決して答えは一つではない、自分の弓を見つけないということでした。私は今回で三回目の参加となりましたが、今年はずりわけ得るものが大きかったように思います。自分自身の糧にすることはもちろんですが、秋の講習会ではできるだけ伝えていきたいと思えます。



# 信越講習会

## 称号の部

長野支部 錬士五段  
伊藤 貴啓

いと心に刻むのでありました。続いて、基本体・動作の確認を皆で射場いっぱい広がり行い、ツバメが道場内を飛び回るような青天の中、活気のある先生方の指導が何度も響きました。

昼食後、一次審査の間合いで一手行射。全講師からの言葉の後、個別射技指導で一日目終了です。

宮坂先生「講習会冊子表紙の空木の花から、日本の情景を歌った『夏は来ぬ』を引用し、弓にも技と共に『情景を心に作って』全体を一つのものとしてほしいと、深みを与える様な助言を頂きました。

五月十四・十五日の二日間、長野県飯山市弓道場に於いて、信越講習会が行われました。講師は長野県から、外園公毅先生・宮坂博之先生。新潟県からは、平松賢一先生・星野義昭先生。受講生は四十二名の参加となりました。

開講式での外園先生の挨拶のなかで、「日本全体の高齢化に伴い、弓道会員の高齢化も心配していますが、まだまだ実状が把握されていない状態。どうあがいても、全体の高齢化はしばらく続くものと見据えて、今回の講習も含めて対応していきたい。」と、直面している事の深刻さを語ってくれました。

星野先生「一連の基本の流れの大切さを説き、射技指導の時は私の指先一本までチェックして教えて頂き、初歩的な基本だけに非常に助かりました。

平松先生「とにかく言いたいことはたくさんある！」と、我々の対象となることを五つに絞って細かく説



明して頂きました。①入場の揖！（足をひき寄せつつ揖）や淀みの無い足さばき ②胴造り時の矢は地面と平行！ ③離れ後の物見を返した目線の位置！ ④乙矢のみの捧持の仕方！ ⑤退場の揖！（足を寄せると同時に揖）や視線等々……。書き留めることで精一杯だったので、帰ってから夜の善光寺弓道場で一人、復習・反省をしました。

外園先生「皆で唱和する理由を述べた後、ある十六歳のピアニストが『譜面通りでは観客は感激しない』と、常に表現を模索し続けている子がいる事を知り、弓にも共通したものがあつたのではないかと、大変感心された事を話されました。

二日目は、持ち的・一つの射礼研修を行い、昼食。その後、全員に配られた質問紙の事柄と『失』の作法について、『失の三原則』を確認しつつ、教えて頂きました。今回は『立射に関する制定』があつたため、坐射とのタイミング等も、しっかり細かく確認されていました。

そして最後に、仕上げ行射の総まとめを行い、私は脳・心・体（腰・膝・足）の全てが疲弊しながらも、有益だったと満足できる講習会を終えることができました。

閉講式で外園先生は、長野・新潟共に広大で、遠方からも足を運ばれた方も

おり、二日間一生懸命受講された会員・幹事・優秀な講師の皆さんに「ありがとうございました」と、感謝の言葉で労われ、ドラマ「真田丸」を見ても昔から両県とも濃い関係だったので、これからも情報交換し、仲良くやっていきたいと思います。

解散直後、平松先生も「厳しく接し、色々言いましたが、皆さんの為の事ですので」と、最後に心の内をおっしゃって頂き、その心遣いがとても嬉しかったです。さらに今回、幹事も務められた山本哲雄様にも品格に関し、優しく指摘・指導して頂き、感謝とともに、もっと自覚しなければ…と反省しました。私の『良心』が己に求めようとするかぎり、今後も精進を続けてゆきたい。色々お世話になりました。



# 五段の部

佐久支部 五段  
櫻井 圭

平成二十八年五月十五日に新潟県上越市弓道場に於いて、主任講師に安達行法先生(教士七段)、講師に平野英孝先生(教士六段)、大久保まき子先生(教士六段)、渡邊恵児先生(教士六段)四名の講師陣でした。長野県、新潟県合わせて三十七名が受講しました。

主任講師の、安達行法先生の挨拶で信越講習会は、次のレベルアップ錬士昇格する為の講習会であるとの激励の御言葉がありました。

礼記射義・射法訓の唱和で先導する事になりました。お恥ずかしい事で、緊張してしまい、礼記射義で行数を飛ばしてしまうミスをしてしまいました。今後は、ミスしないよう精進しようと思えました。

安達行法先生の矢渡、第一介添船見譲受講(新潟)、第二介添大塚利恵子受講(長野)、見落とすところの無き様、拝見勉強をさせて頂く事が出来ました。矢渡の講評では、渡邊恵児先生が「介添」の動作に記載し



てある「介添の心」を理解して今後の稽古に生かす様指導がありました。

一手行射の講評では、ゼッケンのヒモが見える(服装着付け)、入退場の歩行の早さ、足の裏を見せない事、執弓の姿勢での拳の位置、跪坐の時の目線が低い、矢番え動作追い越し禁止、顔向けが悪い、弓倒し後の拳の位置、動作にはひとつずつ意味がある、入場から退場まで手を抜かない、お互いの配慮が大切である。と

の、指摘がありました。

午前の講習は終わり、午後からは確認の意味で徹底的に執弓の姿勢を勉強しました。執弓の姿勢の稽古は、鏡を見ながら二等辺三角形となるように弓と矢は水平面に対して同じ角度になるように確認する事を教わりました。後は、退場の確認練習をしました。退場は常に真ん中から退場する事、必ず上座に意を注ぐ事が指摘されました。つづいて、

錬士術科試験で行う持的射礼研修がありました。全員が呼吸を合わせ、同時にそろって動作を行うことが大切、本座で列が乱れないように入場時の末弭の位置は前の人の右側に、退場時の末弭の位置は前の人の左側に、末弭を床に付ける時は「ガタガタ」と音をたてないように。弓道の最高目標である「真善美」を表現できるようにと指導がありました。

射技指導では、安達行法先生には、手の内が悪い強く握っている。軽く握る事。平野英孝先生には、離れの拳の位置。大

久保まき子先生には、顔向けの事、引分けは体に近づける事。渡邊恵児先生には、離れの時の弓手の位置を指導していただきました。講師の先生方は、本当に真剣で射技指導時間が過ぎても指導していただき本当に幸せな時間でした。本当に、講師の先生方には感謝しかありません。今後は、更に上位を目指し精進していきたいと思えます。



# 私と弓道

須高支部 四段 長澤 陽子

弓道とは無縁だった私が弓道を始めたきっかけ、それは、高校生になった娘の一言である。「弓道を経験してみたい」だった。近くの塩尻市弓道場へ行ってみると、弓道教室募集のポスターを目にし、早速二人、体験のつもりで入会した。入会者が少ない事もあり、丁寧に、和気あいあいに指導していただいた。いつの間にかのめり込み、職業病と言われる腰痛の痛みも無くなり、弓の楽しさを知りはじめた。

糸魚川弓道会との交流、お花見射会、奈良川大会、松本城射会などみんなで参加した。大北の平林先生のユーモアのある射会は楽しい思い出である。

事情で二十年余り、弓道から離れていたがその間いつか又始めてみたい！という思いは常に心の隅にあった。

長野に居住し、弓道場探しをはじめた。松代観光協会の方の紹介で「教士大蔵先生」にお会いすることができた。

持参した弓矢を見ていただき、手



入れもしていただいた。全くの初心者である私を受け入れて下さった、と勝手に思っている。とにかく弓を引きたいという気持ちが強かった。

筋肉痛、肩痛に悩まされつつの稽古、「そろそろの前に立ちましよう。」先生の言葉に体の震えが止まらず的がかすんで見えたことを今でも覚えている。

古稀をすぎ、今は先生や錬士の方々の御指導のもとで、弓の深さ、厳しさ、人間性などを学ばせていただいている。先生方と出会って六年、ここまで御指導いただいた事にただただ感謝するばかりです。未熟者であるがゆえに日々の稽古で弓と真摯につきあい、一歩一歩前に進めたらと思っています。

# 大会結果

## 中野冬季百射会

○平成28年2月14日(日) 中野市弓道場

参加人数…一般46名

■一般の部

- ▲個人
- 1位 岩原 祐貴(諏訪) 92中
- 2位 市川 隆光(諏訪) 83中
- 3位 柴 翔太(諏訪) 80中
- 4位 江田 浩二(木島平村) 75中
- 5位 谷 敏子(大北) 65中

## 駒ヶ根市体育協会弓道百射会

○平成28年2月21日(日) 駒ヶ根市弓道場

参加人数…26名

- ▲個人
- 1位 小澤 剛士(上伊那) 86中
- 2位 柴 種徳(上伊那) 70中
- 3位 湯澤 幸司(上伊那) 68中
- 4位 春日 貴(上伊那) 64中
- 5位 井口 正弘(上伊那) 59中

## 御奉射大会

○平成28年3月17日(木) 穂高神社弓道場

参加人数…高校99名、一般51名、合計150名

■高校の部

- ▲個人(6射)
- 1位 吉田イエラム(美須々男子A) 5中
- 2位 小出澤七星(松商F) 5中
- 3位 高坂 彩水(岡谷東女子A) 5中
- 4位 佐伯 凌(松商学園C) 5中
- 5位 朝倉 優香(美須々女子B) 5中

## ▲団体(12射)

- 1位 美須々男子B(丸山優太、伊那亮祐、白木純也) 9中
- 2位 松商学園C(佐伯凌、青柳稜、奥田夏希) 9中
- 3位 松商学園F(洞澤瑞萌、小出澤七星、武田洗貴) 8中

■一般の部

- ▲個人(6射)
- 1位 土川 俊市(善哉館) 5中
- 2位 荒井 孝芳(大北) 5中
- 3位 上田 昇(義仲) 5中
- 4位 百瀬 稔(チームM) 4中
- 5位 横川 善一(安曇C) 4中
- ▲団体(12射)
- 1位 安曇C(丸山恒治、渡辺晃、横川善一) 7中
- 2位 善哉館(野田陽子、斉藤千恵子、上田昇) 7中
- 3位 善哉館(掘田健一、広田義照、土川俊市) 6中

## 第31回塩尻市弓道大会

○平成28年3月20日(日) 塩尻市弓道場

参加者…中学9名、高校227名、一般18名、合計254名

▲個人の部(8射)

- 1位 東山 悠空(豊科A) 7中
- 2位 三沢 萌季(志学館J) 7中
- 3位 早川 匠(木曾青峰B) 7中
- 4位 清水 北登(佐久) 7中
- 5位 奈良 優輝(木曾青峰E) 7中
- ▲団体の部(12射)
- 1位 志学館H(手島里咲、野口菜々子、高木紫帆) 9中
- 2位 美須々女子E(旗町佳代、小池朱里、岡田彩夏) 8中

# 弓仲間紹介

## 松本支部 四段 野知里 信子

今年も弓道教室の季節となり、多くの方が参加しています。私も松本市弓道場が建て替えられていた九年前、弓道教室の夜の部に参加させていただきました。

その時の会場は、美須々にある護国神社の遠的場でした。当時は十名ほどが教えていただきました。仮設でしたので、矢が的の遥か頭上を越え、遠的の的との間の草地に飛び、懐中電灯の明かりだけで探した事や、投光器に矢が中り倒してしまったりもありました。先生方はさぞかし大変だったと思います。が、気長に接していただきました。翌年の四月に新しい道場ができること、弓道教室の参加者も倍以上になり、松本弓道会への入会者も増えていきましたが、ご家庭の事情や転勤等でやめる方もありました。そんな中でも、若い



(?) 仲間が少しずつですが増えていきました。

松本の弓道場では、審査や予選会、地域の大会が毎年あり、回数が多い年は役員をされている先生方のご苦労は大変なものです。私などは数回お手伝いに行く程度ですが、皆で力を合わせてよい運営ができるように取り組んでいるのが感じられます。

そんな中で連帯感が生まれ、良い人間関係が育っている気がします。皆で色々話ができ、とても居心地が良い所です。私などは何度も審査に落ちましたが、励ましていただけ、辞めずに続けられました。審査に合格した時は、自分のことのようにとても喜んでいただけました。「真善美」の善に書かれていて、「弓によって親しみ、協同、和平であり」を

思い出し、自分の居場所がある気がします。今回も市内大会に参加しました。皆と一緒に弓道ができることが一番の楽しみです。

3位 木曾青峰E(田尻春満、上原慎司、奈良優輝) 8中

### 第71回国民体育大会弓道競技 長野県二次選考会通過選手

○平成28年4月2日(土)、9日(土)  
松本市弓道場、須坂市弓道場

▲少年男子9名

- 佐伯 凌(松商学園)
- 金子 景太(諏訪二葉)
- 堀内 一真(飯田風越)
- 吉池 大河(上田)
- 飯島 大貴(長野工業)
- 塩釜 圭礎(長野日大)
- 小林 朋史(長野日大)
- 依田 尚大(長野吉田)
- 山田 尚毅(野沢南)

▲少年女子11名

- 中村 莉那(下伊那農業)
- 馬場 絢音(駒ヶ根工業)
- 相馬 汐里(松商学園)
- 稲村 夢香(松商学園)
- 岡田 彩夏(松本美須々)
- 唐澤 莉佳(岡谷東)
- 廣田 彩乃(長野吉田)
- 菊原希美佳(野沢南)
- 五十嵐ももな(長野日大)
- 小原 涼(須坂)
- 利根川聖花(屋代)

▲成年男子8名

- 市川 隆光(諏訪)
- 平澤 敏弘(飯伊)
- 蟹澤 史弥(上伊那)
- 岩原 祐貴(諏訪)
- 宮原 勝広(木曾)
- 清水 北登(佐久)
- 藤森千友貴(上小)
- 小田切祐典(小諸)

▲成年女子6名

- 川村 綾美(諏訪)
- 井原 寿恵(飯伊)
- 伊藤 梓(長野)
- 柳澤 真純(上小)
- 竹花 葵(上小)
- 内山 寿美(諏訪)

### 長野県勤労者弓道選手権大会兼 第63回全日本勤労者弓道選手権大会長野県予選会

○平成28年4月3日(日) 上田市城跡公園弓道場  
備考：全国大会派遣チームは1位塩尻市役所棄権のため、J-A長野厚生連、諏訪赤十字病院に決定

▲個人の部

- 1位 内山 寿美(諏訪赤十字病院)
- 2位 宮原 勝広(塩尻市役所)
- 3位 横澤 志織(長野県庁)
- 技能優秀者 横澤 志織(長野県庁)
- 技能優秀者 佐藤 麻由(塩尻市役所)

▲団体の部

- 1位 塩尻市役所(佐藤麻由、官林夕夏、宮原勝広)
- 2位 J-A長野厚生連(宮澤久美子、吉岡洋子、高末康恵)
- 3位 諏訪赤十字病院(内山寿美、若林香理、長澤雄太)

### 第25回県下弓道駒ヶ根大会

○平成28年4月17日(日) 駒ヶ根市弓道場  
参加人数：76チーム 226名

▲個人の部(8射)

- ▲高校男子
- 1位 岩村 拓生(松川)
- 2位 向日 巧真(伊那弥生)
- 3位 芦部 悠人(駒ヶ根工業)
- 4位 小坂 大也(諏訪向陽)
- 8中
- 6中
- 6中
- 6中

- ▲高校女子
- 5位 南 勇輝(松川)
- 6中

- ▲一般
- 1位 馬場 絢音(駒ヶ根工業)
- 5中
- 2位 桂川 真葉(諏訪向陽)
- 5中
- 3位 東 麻奈(赤穂)
- 5中
- 4位 清水美彩貴(伊那北)
- 4中
- 5位 小林香也乃(岡谷南)
- 4中

- ▲一般
- 1位 小澤 剛志(駒ヶ根)
- 8中
- 2位 水沢 拓未(信州大)
- 8中
- 3位 柴 種徳(伊北)
- 7中
- 4位 酒井 紳一(伊北)
- 6中
- 5位 佐藤美珠樹(信州大)
- 6中

- ▲団体の部(12射)
- 1位 駒ヶ根工業高A(田畑桂大、伊藤雅之、芦部悠人)
- 9中
- 2位 下諏訪向陽A(小坂大也、林直秀、小林雄飛)
- 8中
- 3位 混成E(小澤剛志、征矢将弘、湯澤秀雄)
- 8中

第38回善光寺弓道大会

○平成28年4月17日(日) 善光寺弓道場  
参加人数…一般115名

■一般の部

- ▲個人(8射)
- 1位 新津 一夫(長野玄武隊)
- 8中
- 2位 笠井 信夫(善光寺A)
- 7中
- 3位 小越 一寛(信州大学A)
- 7中
- 4位 田畑 遼(信大医学部A)
- 7中
- 5位 下坂 哲也(善光寺A)
- 7中

- ▲団体
- 1位 善光寺A(伊藤貴啓、下坂哲也、横澤志織、笠井信夫)
- 20中
- 2位 信州大学A(松坂仁樹、茂山裕貴、橋本郁也、小越一寛)
- 19中
- 3位 長野玄武隊(町田孝夫、佐藤正之、白澤恒夫、新津一夫)
- 19中

第67回全日本男子弓道選手権大会長野県予選会  
第49回全日本女子弓道選手権大会長野県予選会

○平成28年4月24日(日) 松本市弓道場  
▲北信越錬成大会(県代表選手)

▲男子

- 宮坂 博之(諏訪)
- 平澤 敏弘(飯伊)
- 奥山 雄三(上小)
- 志村 仁(諏訪)
- 新津 一夫(須高)
- ▲女子
- 藤澤 敏子(飯伊)
- 真関 志野(松本)
- 村越 良美(長野)
- 中村 美穂(上伊那)
- 久保田智恵(長野)

第74回長野縣護國神社例大祭  
奉納県下弓道大会

○平成28年4月29日(金・祝)  
長野縣護國神社弓道場

参加人数…高校115名、一般55名、合計170名

■高校の部

- ▲個人(8射)
- 1位 日向 竜一(田川)
- 8中
- 2位 市村 和史(塩尻志学館)
- 7中
- 3位 牧羽 航平(松商学園)
- 7中
- 4位 代田 貴弘(塩尻志学館)
- 7中
- 5位 松井 啓(田川)
- 6中

- ▲団体(24射)
- 1位 志学館男子(沼田康暉、市村和史、代田貴弘)
- 16中
- 2位 田川高校B(上條拓郎、松井啓、坂西美紅)
- 14中
- 3位 松商学園B(武田洗貴、牧羽航平、田中俊介)
- 14中

- 一般の部
- ▲個人(8射)
- 1位 水上 和(信州大学)
- 7中
- 2位 齊藤 利仁(信州大学)
- 7中
- 3位 保木野克海(信州大学)
- 7中
- 4位 丸山 淳子(松本嬢)
- 7中
- 5位 増澤 駿(わかば)
- 7中

- ▲団体(24射)
- 1位 信州大学A(保木野克海、水上和、齊藤利仁)
- 21中
- 2位 信大医学部(鈴木咲樹、植松千幸、田畑遼)
- 14中
- 3位 松本嬢(丸山淳子、松嶋孝子、山口真弓)
- 14中

第64回飯田市民弓道大会

○平成28年4月29日(金・祝)  
県営飯田弓道場

参加人数…高校133名、一般43名、合計176名

■個人の部

- ▲高校男子(12射)
- 1位 川島 陸人(風越C)
- 10中
- 2位 熊谷 駿佑(風越C)
- 10中
- 3位 永山 諒(風越D)
- 10中
- 4位 岩村 拓生(松川A)
- 10中
- 5位 荒井 勇志(風越D)
- 10中

- ▲高校女子(12射)
- 1位 中村 莉那(下伊那農業D)
- 10中
- 2位 代田 結万(飯田B)
- 9中
- 3位 原 風香(下伊那農業D)
- 9中
- 4位 高橋 志帆(飯田女子A)
- 9中
- 5位 宮下 沙季(飯田女子B)
- 9中

- ▲一般(12射)
- 1位 下平 春夫(上郷B)
- 12中
- 2位 松島 一夫(松尾ミドル)
- 11中
- 3位 井原 寿恵(喬木)
- 10中
- 4位 常盤 三男(松尾ミドル)
- 9中
- 5位 平澤 敏弘(矢真飛)
- 8中

- 団体の部
- ▲一般・高校(12射)
- 1位 下伊那農業D(原風香、中島明歩、中村莉那)
- 27中
- 2位 風越C(熊谷駿佑、松尾優、川島陸人)
- 26中
- 3位 風越D(萩元健介、荒井勇志、永山諒)
- 26中

第60回記念北信弓道大会

○平成28年4月29日(金・祝) 飯山市弓道場  
参加人数…中学男子6名、中学女子10名、高校男子261名、高校女子264名、一般男子51名、一般女子40名、合計632名

■中学の部

- ▲個人男子(6射)
- 1位 藤田慶一郎(小諸弓道会)
- 3中
- 2位 徳嵩 尚紀(文化学園)
- 2中
- 3位 梶川 皓汰(文化学園)
- 0中
- ▲個人女子(6射)
- 1位 樋口 遙(長野日大)
- 3中
- 2位 柏木 悠里(小諸弓道会)
- 2中
- 3位 堀川 紗椰(信大附属)
- 1中

■高校の部

- ▲個人男子(6射)
- 1位 小林健太郎(須坂B)
- 6中
- 2位 丸山 樹(長野商業A)
- 6中
- 3位 大河原弘貴(須坂C)
- 6中
- ▲個人女子(6射)
- 1位 牧 さくら(須坂C)
- 6中
- 2位 廣田 彩乃(長野吉田C)
- 6中
- 3位 小松 美咲(中野西A)
- 5中

- ▲団体男子(30射)
- 1位 長野商業A(松原祐人、西澤幸志朗、高橋一夢、丸山樹、小泉貴寛)
- 24中

- 2位 長野工業A(高野智基、平林司、飯島大貴、長田優太、海谷大輔)

- 3位 屋代C(中村幹人、笠井悠斗、清水魁人、荒川祐太、竹内理人)

▲団体女子(30射)

- 1位 長野西B(保科百花、水本葵、小嶋茉莉、緑川彩瞳、本間梨紗)

- 2位 松本美須々ヶ丘A(旗町佳代、澤口奈津実、丸山恵理夏、朝倉優香、岡田彩夏)

- 3位 中野西A(土屋美稀、小松美咲、佐野有沙、浅野優奈、竹内晴香)

- 1位 小田切祐典(小諸)

▲個人男子(6射)

- 2位 江田 浩二(飯山)

- 3位 宮川 繁(小千谷)

- 4位 小池 君男(長野)

- 5位 依田 優太(小諸)

- 1位 米持 奈々(邑楽館林)

- 2位 佐藤 順子(小千谷)

- 3位 小山 千絵(須高)

- 4位 窪田 和恵(大北)

- 5位 高橋 晴美(六日町)

第43回 佐久鯉まつり弓道大会

○平成28年5月5日(木・祝)

駒場公園弓道場

参加人数・高校88名、一般91名、合計179名

■高校団体の部(24射)

- 1位 野沢南高校A(菊原希美佳、齋藤武直、山田尚毅)

- 2位 佐久平総合技術高校A(柳沢正純、奥田伸哉、小山寛至)

- 3位 野沢南高校B(岡村快、奥深山涼、菊池康治郎)

- 1位 小田切祐典(小諸)

- 2位 藤森千友貴(上小)

- 3位 依田 優太(小諸)

平成28年度 ねりんピック 長野県大会 兼 全国大会 長野県予選会

○平成28年5月28日(土) 豊科弓道場

参加人数・26名

▲大会成績

- 1位 鈴木 清重(上伊那)

- 2位 赤須 昭正(上伊那)

- 3位 金原 正(佐久)

▲長野県代表選手(10月15日～18日 長崎県)

- 選手 鈴木 清重(上伊那)

- 選手 赤須 昭正(上伊那)

- 選手 金原 正(佐久)

- 選手 山田 清夫(松本)

- 選手 土屋きよみ(小諸)

- 補欠 笠井 信夫(長野)

- 補欠 滝澤 武子(松本)



昇段昇格者

■「京都」定期中央審査会

▽六段の部 平成28年5月4日

上條 寛(松本支部)

▽教士の部 平成28年5月5日

中村 美穂(上伊那支部)

■「東海地区」臨時中央審査会

▽錬士の部 平成28年5月21日

大塚利恵子(中高支部)

白澤 恒夫(長野支部)

表彰

○輝け! abnスポーツ大賞

特別賞受賞

2015年の国わかやま国体・弓道成年男子チーム

永藤 聡 監督

清水 北登 選手

小田切祐典 選手

平澤 敏弘 選手

○第27回(2015年度)交通新聞スポーツ賞 功労賞

新津一夫(教士六段 須高支部)

訃報のお知らせ(敬称略)

長野県弓道連盟 上小支部

長野県弓道連盟 理事

教士六段 今井 康人(81歳)

平成28年5月14日(土)

逝去されました。

ここに謹んで哀悼の意を表し、

お知らせ申し上げます。

ひまわり

昨年度より広報部員をさせて頂く事となり、今年度事業部会に初参加した時の第一印象は、どこかのテレビ番組ではありませんが、「なんという事でしょう」と。あまりにも場違い、やはり引き受けるべきではなかったかも…。とはいえ今まで県弓連の先生方には(濱先生の頃より)団体や県レベルの大会、講習会で散々お世話になって今の私が弓を引いていられるのだと思えば、広報部員で少しでも恩返しができるのかもしれないと自分に言い聞かせている今日この頃です。

そんなある日、久しくお会いしていない先生が写っていらつしやる写真が中日本女子大会の会場に掲示されていました。

「第16回 昭和56年 愛知県スポーツ会館弓道場」と書かれた紙と一緒に掲示されていた写真の中には、長野県女子弓道の先駆けのお一人が凛として前列に座っていらつしやいます。大変失礼かとは思いましたが、同県の女子として誇らしかったです。

女子は優雅にして容姿凛然…。

広報部員としても、弓を引く者としても右記のように程遠く思い悩むばかりの私をどうか皆様、お助け下さい。

飯伊支部 木村由紀子